

お元気ですか



# 旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号  
TEL.FAX.0166-32-4863  
kasagi@potato.hokkai.jp

こんにちは。笠木かおるです。  
「かおる通信」37号をお届けします。  
旭川市長選挙などで秋季号が遅くなつてしましました。これからも、自分の活動報告を精一杯行っていきたいと思います。  
引き続きご愛顧いただければ幸いです。

旭川市議会議員

**笠木かおる**

## 旭川市長選挙が終わりました。

菅原功一市長の勇退で新人同士の選挙戦となった旭川市長選挙は10月29日投票され、西川将人さん（37歳）が他の候補を振り切り初当選しました。

西川さんは全道で1番若く、全国でも3番目に若い市長です。  
「諸先輩より経験が不足している分、人の3倍努力します」と話す西川さんから、私は清潔感と頼もしさを感じています。謙虚でまじめな人柄だけに、いい市長になるものと確信しています。

みんなの大好きな街、旭川が少しでも良い街になるよう、西川新市長をしっかりと支えていきたいと思います。



## 家庭ゴミの有料化に集中して質問しました。



第3回定例市議会は9月12日に開会し、10月6日までの会期で開かれました。

私は来年8月から実施予定の家庭ゴミ有料化について質問にたちました。以下、要旨を報告します。

(笠木) 町内会等がボランティアで地域清掃した際のゴミの取扱いはどうなるか。

(答弁) 有料化の対象から除外する。

(笠木) 子育てや在宅介護への支援が大切なときで、紙おむつの減量努力は困難である。少子高齢化対策からも紙おむつは有料化から除外する必要があるのでは。

(答弁) ご指摘の点も、除外する方向で検討する必要があると考える。

(笠木) 生活保護世帯は2分の1の減額を検討しているとのことだが、生活保護を受けずに基礎年金だけで自立生活する世帯にも目をむけるべきだ。

(答弁) そこまで広げることはなかなか困難である。

(笠木) 公平感がくずれている。引き続き検討を求める。

(笠木) 剪定枝や廃食用油、布類等はどうなる。

(答弁) 新たな分別の拡大を検討し、そのことにより有料化から外れることにしていきたい。

(笠木) プラスチック製包装容器、紙製包装容器の分別により、燃えるゴミ・燃えないゴミの量は予想以上に少なくなったのではないか。

(答弁) 引き続きゴミの組成を調査していく。

(笠木) 事業系ゴミの、とりわけ生ゴミの分別計画は。

(答弁) 19年度以降、事業系生ゴミの分別徹底をすすめ、最終処分場の負荷の軽減に努めていきたい。

## **笠木かおる杯PG、お天気にも恵まれました**

第6回笠木かおる杯パークゴルフ大会が9月23日、嵐山パークゴルフ場で開かれました。恒例となった同大会には今年も255名が参加。お天気にも恵まれ、みなケガもなく楽しんでいただきました。男子優勝は小竹栄さん（スコア98）女子優勝は宮崎久枝さん（スコア113）でした。ちなみに私はスコア130で、男子の部121位でした。来年こそレベルアップを図ろうと思っています。



## 市政相談所を開設しています

お気軽にご相談ください 電話32-4863番

自宅で市政相談所を開設しています。市政に対するご提言や要望などお気軽にご相談ください。

### 最近いただいたご相談（抜粋）

- 嵐山パークゴルフ場のコース見直しについて
- 共栄小学校通学道路の除雪について
- 豊岡公園外灯整備について
- 市営墓地の申込みに関して
- 小股・基北川への雪搬入について
- 兵村記念館前へバス停を移動する件について
- 保育所入所の相談
- 倉沼川・難波田川草刈について
- 町内会活動功労者への市長表彰について
- 高齢者福祉施設への入所相談
- 生活道路の改修
- 一人暮らし世帯の健康推進相談
- 小児障がい者デイサービス利用について
- 母子手当の支給基準について
- 日の出地区排水路の整備について
- 生活橋の整備について（豊岡地区）
- 障がい者就業・生活相談センターの整備について
- 就職相談



## 豊岡公園に外灯が増えます



このほど豊岡公園（豊岡6-3）に外灯が当面、1基増えることになりました。豊岡地区市民委員会（吉田満会長）とともに増設を要望していたもので、同公園内には小股川が流れ、樹木も成長し夜の防犯上からも地元住民から強い要望があったものです。



## 盲導犬ミーナの会を応援しています。

目のご不自由な方々の目となり、心の支えとなる盲導犬。盲導犬の育成に少しでもお役にたてればと、「盲導犬ミーナ」の会を応援しています。

毎年開かれる旭川ミーナの会（大泉武会長）のダンスパーティーには欠かさず参加。今年もこのほど永山住民センターで開かれました。

とはいっても社交ダンスは全くダメで、いつも「見る側」専門です。



## 共生園チーム、見事優勝！

8月13日、東旭川町桜岡の「発信ランド盆踊り大会」に共生園チーム、24名が参加。「激戦」の末、団体の部で見事優勝の快挙を成し遂げました。

決して審査員の皆様にワロは渡していません（笑）。



## 農薬散布の調査をしました。



旭川市議会に無人ヘリコプターでの農薬散布の中止を求める陳情がだされていることから、このほど調査を行いました。

私も水田農家の2男で生まれ育ち、当時は父が農薬機械を背負い、母が反対側のあぜ道でホースをもつて農薬散布していたものです。



高齢化がすすみ、耕作面積が拡大するなかで、無人ヘリコプターでの散布は農家にとってどれほど助かるかと率直に思います。

調査では有機リン系や有機塩素系の農薬は使用していませんでしたし、風向きや湿度、通学時間帯などに十分配慮して散布作業が行われていました。

## 地材地消（ちさいちしょう）を考えました。



「地産地消」ではなく「地材地消」。聞きなれない言葉ですが、地域の森林の実情を知り、地域の森林から出る木材を積極的に使っていくことだそうです。

このほど、旭川林産協同組合を訪ね、「銘木市」の状況を勉強しました。

環境の破壊、地球の温暖化、水源のかん養など、人類の犯した罪をどう償えるのか、政治や行政の役割も大切なことと痛感しました。

## 太田神社鎮座百年に想うこと



9月3日、東旭川町米原の太田神社において「地域開拓百十年・太田神社鎮座百年記念式典」が挙行されご招待を受けました。

明治31年、福島団体が人跡未踏のペーパン地区に入植、特に冬などはどんなに大変だったことか、想像を絶するものがあります。

その辛い日々の心の拠り所であった太田神社。子供たちが境内で楽しく遊び始めたのはいつ頃のことかと思い巡らしました。

普段、何気なく通過するだけだった太田神社と民衆の苦難の歴史を教えられた式典でした。

## 吉田幸市水彩画展



旭川リハビリテーション病院内で、はかぎサイズの水彩画、20作品を展示した小さな個展があり見に行きました。吉田幸市さんは私のいとこで32歳の時に起こした交通事故で、15年ほど在宅療養生活中です。個展のタイトルは「くちがき」。手も足も全くといつてもいいほど動かない幸市さんが口に筆をくわえて完成させた立派な作品。生きるを感じる見事な個展でした。



（近況報告）孫・太志くんは片言ながら半分位は意味がわかる言葉になってきました。2男・匡志くんはハイハイの訓練中です。相変わらず「孫が主人公」の状態で、当分この状態が続きそうです。